

目 標

管内民有林と連携した森林施業を推進して、林業による地域振興に貢献する。

取組内容

【地域林業関係者との連携】

民国連携した森林施業を行うためには、互いの施業方法等を理解したうえで進めていくことが重要であるが、国有林職員、市職員とも双方の現場を見る機会はほとんどないため、第一段階として双方の施業方法について理解を深める必要があると考え、芦別市落辺地域森林整備推進協定に基づき、地域の林業関係者（芦別市、赤平市、なかそらち森林組合）と国有林と市有林の間伐後の現場を見合う勉強会を開催した。

間伐の方法だけでなく、森林作業道、土場の設定、丸太や末木枝条の販売方法、林道の維持管理等について幅広く意見交換をすることができた。

参加者からは、このような機会があるとお互いの距離も縮まり話がしやすくなると好評だった。



勉強会の様子（国有林）

【林業技術の提供】

地域林業の活性化に向けては、森林所有者の利益を確保するため、新技術を取り入れた「新しい林業」への取組が重要である。

そのため、空知総合振興局、森林室、森林組合、関係市町の林務担当職員を対象に、ラジコン草刈り機およびクラッシャーによる下刈り作業の現地見学会を開催し、機械下刈りによる軽労化への取組みについて情報発信をした。

また、民有林でのコンテナ苗の普及率が低く、初めてコンテナ苗を見る市町林務担当者もいることから、植付け体験をしてもらうことで普及を図った。

参加した市町林務担当者からの感想は下記のとおり。

- ・機械下刈りを見据えた植付け設計を行っていることが印象に残った。
- ・労働力軽減の面では成果は大きいですが、効率面では刈払い機のほうが早いと感じた。
- ・緩傾斜地での実演だったので急傾斜地での現場でも見てみたい。



ラジコン草刈り機実演



植付け体験（スペード使用）

結果

芦別市との協定を通じて、空知署職員及び芦別市職員の民国連携に対する意識の向上と、森林組合等林業関係者間の関係構築ができた。

勉強会に参加した赤平市にも協定制度に関心を持ってもらった。

次年度も勉強会を開催し、民国連携した森林施業の実施に繋げていきたい。

操作者からは、ラジコン草刈り機の操作自体は難しくない。伐根周辺の作業は手間がかかり効率が悪くなる。作業状況が見える場所まで移動しながらリモコンを操作する必要があるが、軽労化のメリットは大きい。と感想があった。下刈りの軽労化は関係機関の注目度も高く、参加者は熱心に実演を見学し理解を深めた。

今年度の取組により民有林においても「新しい林業」への取組が進むことが期待される。

今年度の総括 次年度の予定

- 芦別市との連携を足掛かりに、林業関係者間の関係構築と他地域でも協定制度に関心を持ってもらいつつある。
- 林務経験の浅い市担当者から基礎知識がないので機械だけ見てもイメージがつかみにくい部分もあり、基礎的な内容の研修会があれば助かるとの意見もあったことから、基礎的な林業技術や知識を学べる機会を提供し支援をしていきたい。
- 今年度の勉強会で、事業実行中の現場も見たいとの要望があったことから、令和6年度は林業事業体の協力も得ながら事業実行中の双方の現場で勉強会を開催し、民国連携した森林施業の実施に繋げていきたい。